

## 再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

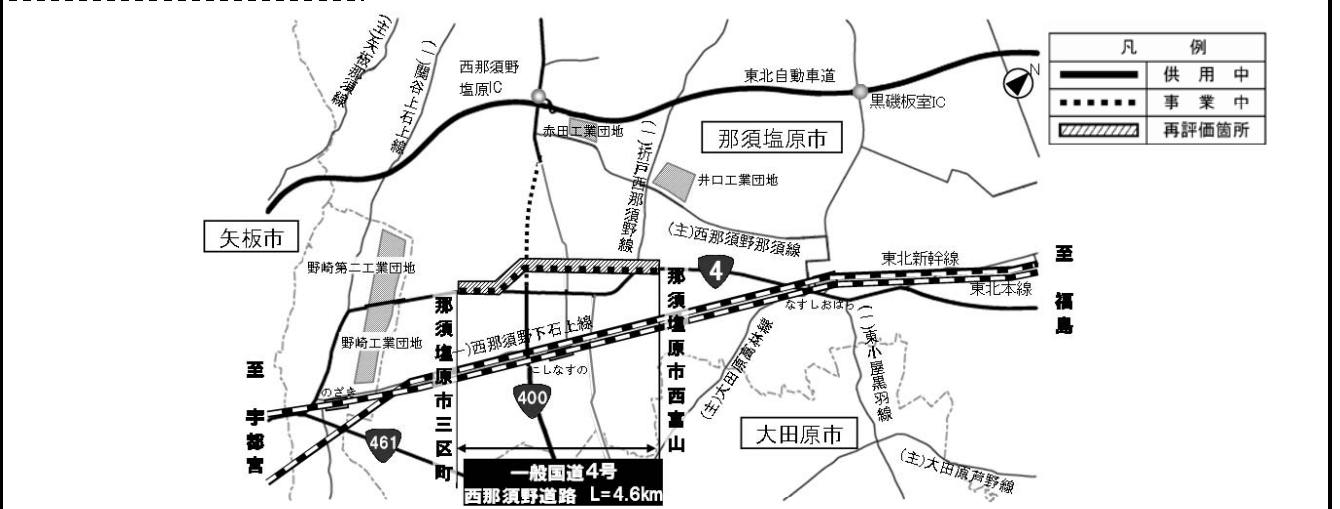
担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道4号 <small>にしなすの</small> 西那須野道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自： <small>とちぎけん なすしおぼらしさんくちよう</small> 栃木県那須塩原市三区町 至： <small>とちぎけん なすしおぼらしにしとみやま</small> 栃木県那須塩原市西富山	延長	4.6km		
事業概要					
一般国道4号は、日本橋を起点とし、宇都宮、郡山、福島、仙台、盛岡を経て青森市に至る主要幹線道路である。西那須野道路は、一般国道4号の那須塩原市街地の混雑緩和と安全性の向上、地域活性化等を目的とした延長4.6kmの4車線のバイパス及び現道拡幅事業である。					
H18年度事業化		S42年度都市計画決定		H21年度用地着手	
H22年度工事着手					
全体事業費	約140億円	事業進捗率	22%	供用済延長	0km
計画交通量	13,600～31,800台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3  (残事業) 1.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 91/122億円 (事業費：79/110億円) 維持管理費：12/12億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 155/155億円 (走行時間短縮便益：147/147億円) (走行費用減少便益：0.88/0.88億円) (交通事故減少便益：7.4/7.4億円)	基準年	平成22年
感度分析の結果					
残事業について感度分析を実施					
交通量：B/C=1.5～1.9（交通量±10%）					
事業費：B/C=1.6～1.9（事業費±10%）					
事業期間：B/C=1.4～1.8（事業期間±20%）					
事業の効果等					
(1)交通混雑の緩和 西那須野道路と並行する一般国道4号の市街地部で、全国平均の約5倍の渋滞が発生している。西那須野道路の整備により、一般国道4号の渋滞緩和が見込まれる。					
(2)安全安心な通行の確保 並行する一般国道4号の三島交差点付近で全国平均の約9倍の事故が発生している。西那須野道路の整備により、事故の減少が見込まれる。					
(3)地域活性化の支援 東北自動車道の西那須野塩原ICまでのアクセスが良く、沿道に多数の工業団地が集積している。西那須野道路などの整備により、東北自動車道までの利便性が向上し更なる交通需要の増大が見込まれる。					
関係する地方公共団体等の意見					
県知事の意見：一般国道4号は本県の発展を支える広域幹線道路として重要な路線であり、これまでも栃木県から機能強化や渋滞対策を要望してきたところであります。特に西那須野道路付近の国道4号は渋滞状況が激しく早急な対策が必要です。つきましては早期完成に向け事業を継続していただけるようお願いいたします。なお、事業の推進にあたっては、引き続きコスト縮減に努めていただきますようお願いいたします。					
事業評価監視委員会の意見					
事業の継続を承認する。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
東北自動車道黒磯板室ICの近辺にアウトレットモールが立地し、休日の周辺地域の交通量が増加が見込まれる。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
平成22年度までに用地取得率が約12%に増加。平成22年度から、一部工事に着手している。今後も、用地買収・工事を実施し、早期の全線4車線化に向けて事業を進める。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
用地の取得は12%完了。引き続き全線4車線完成に向けた事業促進を図る。					
施設の構造や工法の変更等					
「烏ヶ森公園」への影響を極力避けるための道路構造の見直し、地域分断対策のための地下横断施設の追加					
対応方針	事業継続				

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、コスト縮減の内容、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。